

平成18年4月19日

報道各位

(社) 日本原子力産業協会
報道班

第39回 原産年次大会共同記者会見のお知らせ

第39回原産年次大会・セッション2に講演者として参加

S・ジャイン インド原子力発電公社(NPCIL)社長 *

の共同記者会見を下記の通り行います。

*)米-印の歴史的な原子力協力合意や2020年までに原子力発電設備容量を2,000万kW(最近では、4,000万kW)へ拡大する方針を打ち出すなど、積極的な原子力発電開発を展開するインド。そのインドから原子力発電公社(NPCIL)のジャイン社長が、原産年次大会のため来日します。エンジニアとして、現場経験も持ち、今や原子力発電開発をリードする立場の同氏が、トリウム・サイクルなど独自開発路線を歩むインドの現状や将来展望なども含めた関心に応えます。

言 己

○日 時：平成18年4月27日(木) 17時30分～18時15分(45分間)
(本人の都合により、日時等が変更になる場合があります)

○場 所：原産年次大会 パシフィコ横浜 3階 記者会見室(312)

○通 訳：日本語・英語

○問い合わせ先：(社)日本原子力産業協会 TEL:03-6812-7101(代)
担 当：喜多・福本・大野
URL <http://www.jaif.or.jp/>

原産年次大会 報道班
26日(水)～28日(金)：パシフィコ横浜 3階 報道室(311)

以 上

第 39 回原産年次大会 パシフィコ横浜



Shri S.K. ジャイン
インド原子力発電公社(NPCIL)
社 長

本人の都合により日時が変更になる可能性もあります

【S. ジャイン氏略歴】

- 1969年 機械工学科卒業
- 1970年 バーバ原子力研究所(BARC)で1年間の研修後、NPCIL 入社
Erstwhile 発電プロジェクトエンジニアリング部(PPED)配属
- 1971年 ラジャスタン原子力発電所の AECL 設計チーム(カナダ原子力公社)
- 1974年 同発電所のフィールドエンジニアリングチーム
- 1983年 ナローラ原子力発電所のフィールドエンジニアリングチーム・リーダー
- 1989年 NPCIL 本社(ムンバイ)
- 1995年 CMD 技術顧問←この間、インド原産設立に尽力
- 2000年 理事
- 2002年 上級理事
- 2004年 NPCIL および BHAVINI*会長兼所長
* 高速増殖炉(FBR)原型炉「PFBR」の実施主体

***** 返信用 F A X *****

(社)日本原子力産業協会・政策本部 大野 行 (FAX:03-6812-7110/TEL:03-6812-7101)

※太枠内にご記入の上、FAX でご送付下さい。

「第 39 回原産年次大会年次大会共同記者会見」申込書

ご芳名	
機関名	
役職名	
ご住所	
TEL/FAX/email	
所属記者クラブ	